

スマホ利用の低年齢化が進む

～中学入学を機にスマホ利用率は約8割に拡大～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

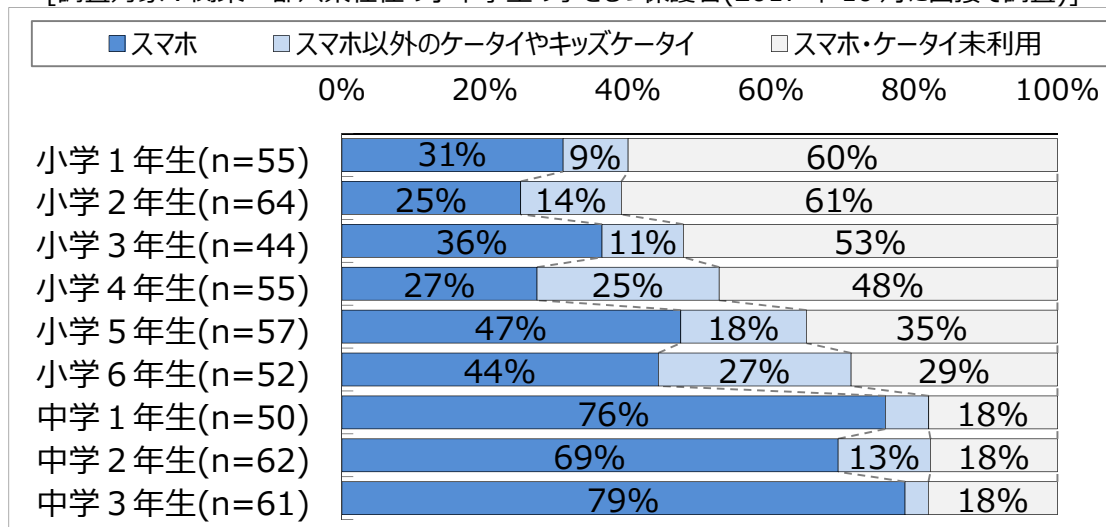
関東一都六県在住の小中学生の子どもとその保護者 500 組に訪問面接調査を実施しました。今回はその調査結果の中から、利用しているスマホ・ケータイの種類について紹介します。

■ 調査結果 一 小中学生が利用しているスマホ・ケータイの種類一

- 小中学生の子どもをもつ保護者に、子どもが利用しているスマホ・ケータイの種類を伺いました。その結果、概ね3割の小学生がスマホを利用しており、中学1年生になるとスマホ利用率は8割程度まで拡大していました(図1)。2015年のウェブ調査(図2)と比べると、調査方法や利用と所有の違い等により、直接比較はできませんが、スマホ利用が低年齢化している傾向が伺えました。
- はじめてスマホを利用する子どもたちに対して、親が関与することにより、安全な使い方を伝えるとともに親子間のスマホルールを話し合ってみる必要があるのではないのでしょうか。モバイル社会研究所では、小中学生の方が安心・安全にスマートフォンを利用していただくためのガイドを下記のURLで公開しています。ぜひご家庭・学校でご活用下さい。(http://www.moba-ken.jp/safety_guide/index.html)

図1. 利用しているスマホ・ケータイの種類(SA・学年別)

[調査対象：関東一都六県在住の小中学生の子をもつ保護者(2017年10月に面接で調査)]



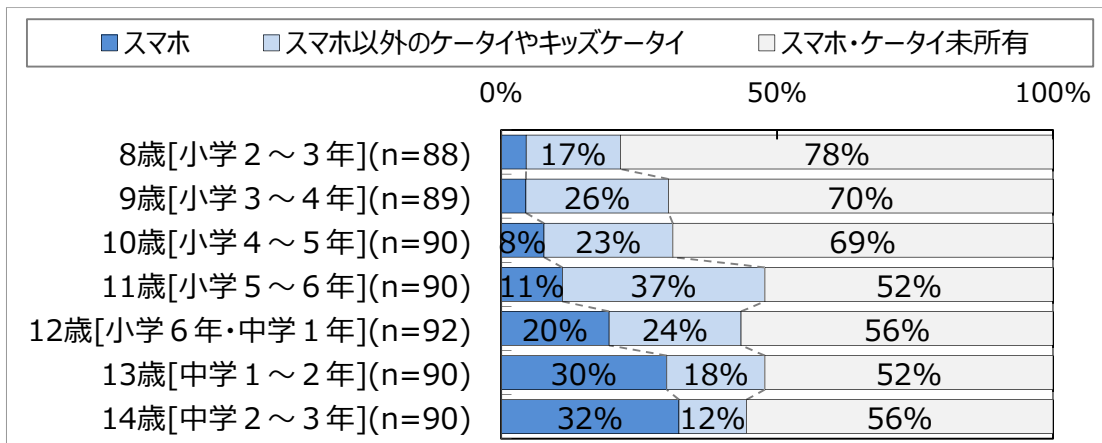
注1：家族などで共有しているものを含め、子どもが利用している機器の有無を保護者が回答。

注2：「スマホ」は回線契約をしているスマートフォン、いわゆる格安スマホ、キッズスマホを含み、回線契約なしのスマホは含めず集計。

注3：スマホとキッズケータイ・フィーチャーフォンをどちらも利用している場合は、スマホ利用として集計。

図2. (参考)所有しているスマホ・ケータイの種類(SA・年齢別)

[調査対象：全国の8～14歳の子どもをもつ保護者(2015年9月にウェブで調査)]



■ 問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com